

博物館学芸講座「美濃の仏像」 Q&A

(開催：令和5年1月15日(日)、講師：井上一稔・同志社大学文学部教授)

Q1 伊奈波神社(岐阜市)との関係性は？

→A1 私は知識を持ち合わせていません。私も古代史研究者に聞いてみたい質問で、今後の研究に待ちたいと思います

Q2 横蔵寺の薬師如来立像に 805 年の刻銘があってもその信憑性は難しいといわれましたが、なぜでしょうか。

→A2 銘文に従えば、中国仏ということになりますが、本像は様式から中国仏とは思えないからです。

Q3 (美江寺蔵)十一面観音の伝播がわかるとよかった。十一の数には本面を含める場合とそうでない場合があるのか。

→A3 その通りです。概ね平安時代以降は本面を入れて計12面が一般的となります。

Q4 仏像のほとんどがなぜ男性なのかなぞでした。

→A4 女性が成仏するとき、男性に生まれ変わるという考えがあるせいだと思います。ゆえに如来(狭義の仏)は男性です。ただ、曼荼羅中には女性の菩薩(広義の仏)もいます。

Q5 仏師の名はわかるのでしょうか。

→A5 わかる場合とそうでない場合があります。概ね仏師名が知られるのは鎌倉時代以降が多いです。

Q6 臨川寺の仏像が興味深いです。どんな動作をしているのか。

→A6 正確には分かりませんが、凡そ何らかの楽器を演奏していた可能性があります。